

九州朝陽会総会



令和元年十一月十日、例年と同じ天神・福新楼にて開催されました。出席者は石井会長はじめ、同窓会事務局長の寺澤氏を迎え、総勢二十名。安武氏の司会のもと、石井会長の挨拶で始まり、お話は、長崎新幹線の経路を、すでに飽和状態にある福岡空港に加え、佐賀空港を利用しやすくできるような変更する案にもおよびました。寺澤氏からは母校や同窓会の現況について、また、長年、太宰府で活動されている島松氏には新元号にまつわる歴史についてお話しいただきました。



写真は五月一日、約千五百名で描かれた「令和」の文字です。（朝日新聞デジタル版より）
 最年長の小代氏（中21）の乾杯の発声に続き、美酒、美味に舌鼓を打ちつ



つ、楽しい歓談の時は限りなく…。その間には、恒例となった野中氏、野上氏のフルート演奏、



芝原夫人の美声、八十の手習いという豊田氏のギター演奏、小代氏のシャンソン、ト리는小林幹事長（九州交響楽団）のオーボエ演奏と続きます。最後に、朝陽水泳会のお三方からは、台風被害甚大な

館山寮再建のための寄付の呼びかけがありました。

岡本氏による閉会の辞まで、あつとという間の四時間でした。母校愛、日々への愛、そして、線路は続くよ どこまでも いつまでも。

出張、ご旅行の皆さまも大歓迎です。次回の参加を楽しみにしつつ
 （域外会員 一五回 小山 春美）